

重点課題
Ⅲ 紀伊半島大水害からの復旧・復興

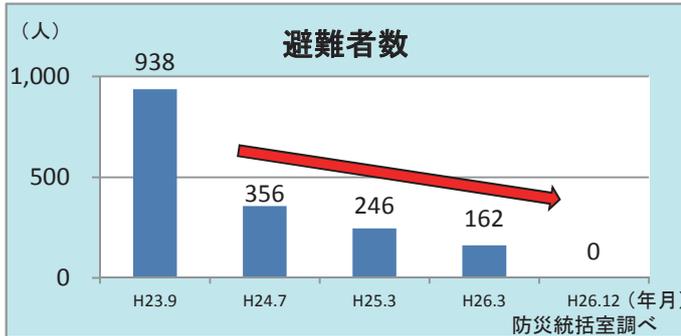
目指す姿
百年の計に立ち、「災害に強く、希望の持てる」地域を目指します。



これまでの成果

- ・対策工事等の着実な進捗により、平成26年12月にすべての避難が解消しました。
- ・道路の災害復旧事業が平成26年度末に約98%の箇所ですべて完了しました。平成27年度末までにすべて完了する予定です。
- ・南部地域・東部地域の活性化を目指し、「なんゆう祭2014」を平成26年10月に五條市で開催し、約2万人の来場者がありました。
- ・住宅被害を受けた被災者向けの復興住宅を、五條市、野迫川村、十津川村の各地区で計24戸建設し、すべて完成しました。
- ・国際防災学会インタープリメント2014(H26年11月25日～28日)を開催しました。

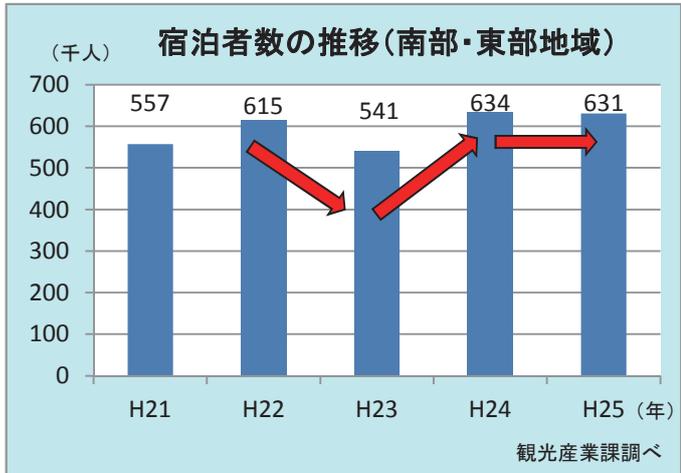
1. 政策課題の進捗状況



目標 避難者・被災者の生活の立ち直りを図ることはもとより、道路、林道、土砂ダムの緊急工事等の復旧事業を迅速に進めます。

取組 道路等の応急復旧・土砂ダム対策、避難者・被災者の支援などを行いました。

成果 被災者数は、被災直後のピーク時に359世帯938人でしたが、対策工事等の着実な進捗により、平成26年12月に3市村において仮設住宅等で避難生活を送られていた方の、すべての避難が解消しました。

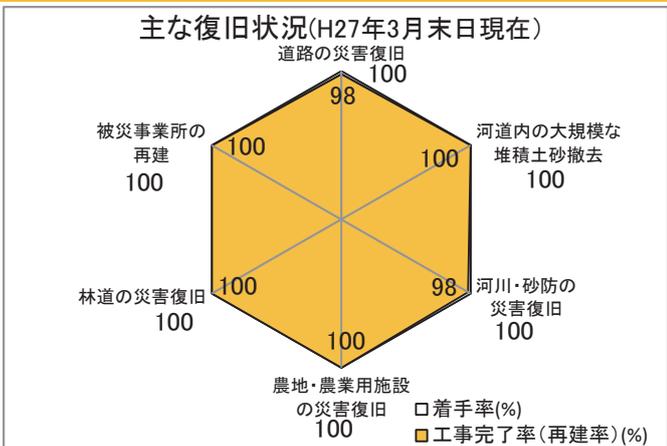


目標 地域の再生・復興につながる新しい集落づくり、産業・雇用の創造、くらしづくりなどについても、可能なものから着手します。

取組 新集落づくりの支援、林業や観光など産業雇用の創造、ふるさと復興協力隊の設置を行いました。

成果 ・3市村で計24戸の復興公営住宅の建設を支援し、すべて完成しました。
・被災直後に大きく減少した南部・東部地域の宿泊者数は、観光プロモーションの実施、南部地域プレミアム宿泊旅行券の発行等の観光振興策に取り組んだことにより、被災前(H22年)を上回る水準に回復しました。
・「ふるさと復興協力隊」を県が直接採用し、市町村に21名配置(H27年3月末)し、地域おこし活動などに貢献しました。

2. 現状分析



被災市町村の現況

団体名	財政力指数		人口(H22国調) (人)	人口増減率(%) (H22-H17国調)
	H26	H25		
五條市	0.35	0.35	34,460	▲ 7.8
御杖村	0.11	0.11	2,102	▲ 11.2
吉野町	0.25	0.25	8,642	▲ 13.4
下市町	0.23	0.23	7,020	▲ 9.3
黒滝村	0.10	0.10	840	▲ 21.9
天川村	0.12	0.12	1,572	▲ 12.7
野迫川村	0.08	0.08	524	▲ 29.5
十津川村	0.20	0.20	4,107	▲ 6.4
川上村	0.10	0.10	1,643	▲ 19.7
東吉野村	0.12	0.12	2,143	▲ 17.8
奈良県	0.39	0.39	1,400,728	▲ 1.4

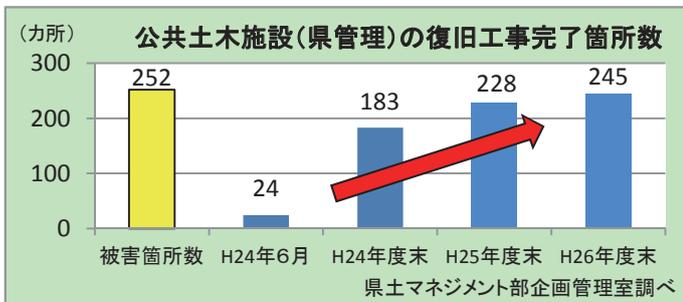
市町村振興課調べ

インフラの復旧工事は、ほぼ100%の箇所が着工し、道路や河川・砂防など10割近くの箇所が完了となるなど、順調に進捗しています。

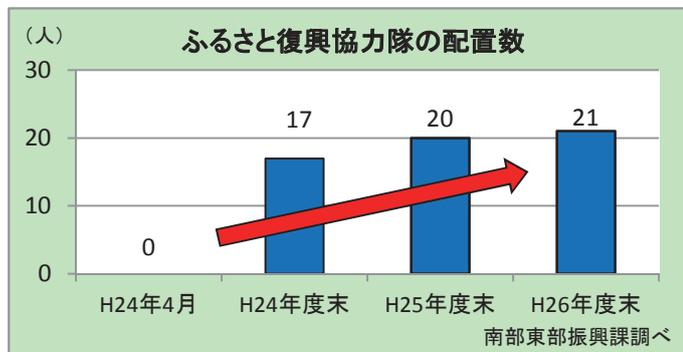
被災市町村は、もともと過疎化が進む地域で財政基盤が極めて脆弱となっています。

3. 施策課題の進捗状況

戦略目標	<ul style="list-style-type: none"> ▶地域住民が被災前の日常生活を一日も早く取り戻すことを目指します。(避難者数 ピーク時: 938人→H26年1月24日現在: 164人) ▶紀伊半島大水害の経験を踏まえ、今後の災害に備えた安全・安心のための新たなシステムづくりを目指します。 ▶過疎化や高齢化が進行する被災地域が、将来にわたり希望をもち、安全・安心して住み続けることのできる地域とすることを目指します。
------	--



取組	道路・河川等公共土木施設の迅速な復旧をしました。
成果	平成27年3月末時点で、県管理252カ所全て工事着手済み、そのうち245カ所(97%)については工事完了済みとなりました。



取組	ふるさと復興協力隊など地域外の人材等による被災地復興の支援をしました。
成果	復興活動、地域協力活動、地域おこし活動などに従事する人材21名を市町村に配置し、仮設住宅入居者の買物等生活支援、観光情報発信、イベント支援、農産物の生産・加工支援等に貢献しました。

4. 平成28年度に向けた課題の明確化及び明確化された課題に対する今後の取組方針

平成28年度に向けた課題	今後の取組方針
「紀伊半島アンカールート」等の災害に強い道路整備の推進	紀伊半島大水害の復旧・復興計画期間中を目標に、「紀伊半島アンカールート」の早期整備に取り組みます。
熊野川の総合的な治水対策の推進	利水ダムさらなる治水運営とダム間の連携・総合土砂管理を行います。
南部地域・東部地域への移住推進	移住先としての魅力の向上や認知度を高めるための情報発信強化、モデル地域の受入体制整備(拠点整備、起業支援)、市町村の受入体制整備(ワンストップ窓口設置等)を行います。
被災地における観光振興の推進、宿泊観光客数の維持・拡大	被災前(H21年、22年)の宿泊観光客数を確保・維持するため、観光プロモーション、スポーツによる誘客など各種事業を推進します。

5. 平成26年度評価において見直しを行った課題、取り組み

見直した課題	見直した取組方針、見直した内容
道路等の復旧	道路等のインフラの復旧工事は、ほぼ完了し、残りの事業の早期完成を目指して進捗管理を行っていきます。